

# IV 人が輝くくまもと ～子育て、教育、就労～

## 1 戦略の概要

### 【戦略1:子育て】

子どもの笑顔があふれる社会

### 【目標】

健やかに育つ子どもを増やします。

### 【重点的に取り組む施策】

21 子育てへの多様な支援

### 【戦略2:教育】

子どもたちの「夢への架け橋」となる教育

子どもたちの確かな学力と健やかな心身をはぐくみます。

22 確かな学力の向上  
23 豊かな心をはぐくむ教育の充実

### 【戦略3:就労】

働くことを通して自己実現できる社会

働く人、働きたい人を応援します。

24 若年者の就労支援

## 2 指標の動向

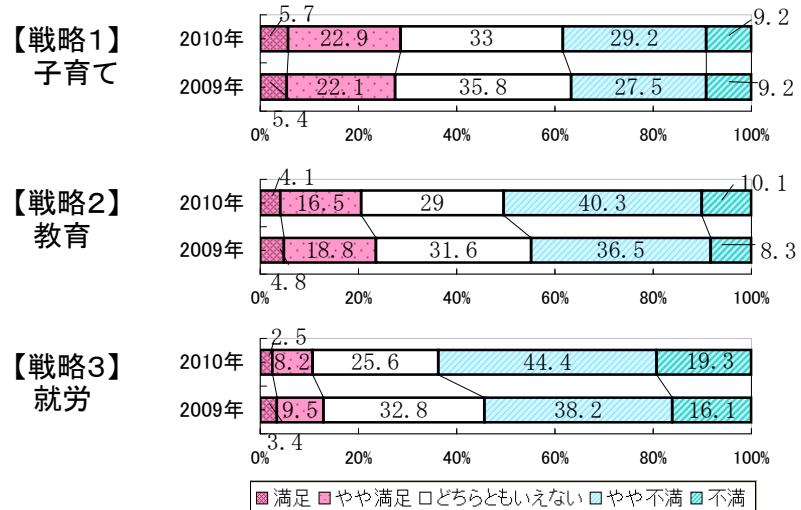
### ○戦略指標の状況

指標	戦略策定時 (平成20年度)	評価時 (平成22年度)	目標値 (平成23年度末)
戦略1 「肥後っ子の日」を知っている県民の割合	— (※新しい指標のため現状値なし)	4.9% (H22)	50%
くまもと子育て応援の店・企業登録数	1,120件 (H19)	2,082件 (H21)	2,400件
戦略2 全国学力・学習状況調査において平均正答率が全国平均を上回った項目数	8項目中6項目 (H20)	8項目中7項目 (H22)	全項目で全国平均を上回る
大学等進学率	41.7% (H19)	43.3% (H21)	47%
不登校児童生徒の割合	1.09% (H19)	0.98% (H21)	1%未満
児童生徒の体力運動能力調査の県平均値(偏差値)	50.42 (H19)	50.74 (H21)	平成20年度を上回る数値
戦略3 インターンシップに参加した県立高等学校の生徒のうち、インターンシップが進路について考えるきっかけとなったと回答した生徒の割合	89.1% (H19)	90.0% (H21)	93%
県内就職を希望する生徒の県内就職決定率	95.6% (H19)	92.6% (H21)	97%
ジョブカフェ利用者における就職決定数	552人/年 (H19)	1,170人/年 (H21)	600人/年 [1,100人/年]

※「目標値」欄の[ ]内の数字は、目標達成に伴い新たに設定した目標値

### ○県民アンケート結果

《各戦略に対する満足度(2009-2010年)》



《もっと力を入れてほしい項目(2010年)》

- 1位: 保育サービスの充実
  - 2位: 健全な青少年の育成
  - 3位: 地域住民による子育て家庭への支援
- 1位: 豊かな心をはぐくむ教育の充実
  - 2位: 教職員の資質向上
  - 3位: 児童生徒の学力の向上
- 1位: 若年者の就労支援
  - 2位: 女性の就労支援
  - 3位: 高齢者の就労支援

## 3 戦略の推進状況・今後の方向性

### 【戦略1】子どもの笑顔があふれる社会

#### 【21 子育てへの多様な支援】

- ・「肥後っ子の日」(毎月15日)の普及啓発、イベントや絵画・作文コンクール等を実施。地域ぐるみで「子育て・子育て」を支える気運を高めた。
- ・くまもと子育て応援の店・企業を支援。登録数が2,000件を超えた。
- ・放課後児童クラブの整備や支援を実施し、放課後の児童の安全安心な居場所の確保を図った。
- ・保育所施設整備等を推進し、今年度末までに待機児童を解消する。
- ・ひとり親家庭等応援事業により、在宅就業による収入の安定を図るとともに、教育、子育ての多面的な支援を行う。
- 少子化の流れを変えるためには、県民ぐるみの子育て支援意識の醸成が重要。今後とも、「肥後っ子の日」を中心とした啓発を更に進めながら、県、市町村、県民、企業等の連携を深めるとともに、地域の実情に応じた、地域の創意工夫による子ども、子育て支援を促進する。また、子どもを安心して育てられるよう、仕事と子育ての両立に向けた環境整備を推進する。



地域ぐるみでの子育て支援

### 【戦略2】子どもたちの「夢への架け橋」となる教育

#### 【22 確かな学力の向上】

- ・地域進学重点校の支援、県学力調査「ゆうチャレンジ」を活用し授業内容を充実。退職教員や地域人材を活用した学習支援の実施等により児童生徒の学力の定着を図った。
- ・経済的理由による教育格差の解消のため奨学金制度、就学支援金、貸付制度等を拡充。
- 小学校低学年からの学習意欲や基礎学力向上が課題であり、モデル校における基礎学力向上システムの研究、普及を図る。また、くまもと「夢への架け橋」教育プランに基づき、県外進学校への派遣等による教員の指導力向上に取り組むとともに、「バーチャル時習館」(ホームページ)を核とした「熊本時習館構想」の推進により、県教育全体のレベルアップを図る。



「親の学び」プログラムの様子

#### 【23 豊かな心をはぐくむ教育の充実】

- ・いじめのない楽しい学校づくりの推進、スクールカウンセラー等相談体制の整備、学校非公式サイトの実態調査等により、いじめや不登校の未然防止、解消に取り組んだ。
- ・小学校への家庭教育支援員の配置、放課後子ども教室の充実等により、家庭や地域の教育力向上を図った。
- ・道徳、人権、健康教育等を推進し、命を大切にする、豊かな心を持った子どもを育成。
- 子どもたちが健やかに成長するためには、家庭での基本的な生活習慣の改善が必要であり、保護者に対する働きかけが課題。「親の学び」プログラムを活用した学習機会の充実、研修等による教員の資質向上、家庭や関係機関の連携による子どもの基本的な生活習慣の定着に向けた啓発に引き続き取り組む。

### 【戦略3】働くことを通して自己実現できる社会

#### 【24 若年者の就労支援】

- ・ジョブカフェ・ランチを全地域振興局に設置、若者の就職相談やマッチング支援を実施。
- ・宇城に県内3カ所目の若者サポートステーションが開所、熊本、玉名と併せて就労・就学支援を実施。
- ・キャリアサポーターを県立高校や特別支援学校に配置し、求人開拓等就職支援を実施。
- ・「くまもとキャリア教育応援団」登録事業所を引き続き開拓し、学校等に情報提供。
- ・県立高校全校でのインターンシップの実施をめざす。
- 雇用情勢の悪化により、県内就職を希望する生徒の就職決定率をはじめ若年者の就労は厳しい状況にあるが、地域社会の担い手である若者が能力を発揮し、経済的に自立できるよう、企業ニーズを捉えた人材育成を進めるとともに、子どもたちに望ましい勤労観、職業観を身につけさせる必要がある。今後とも、国や関係機関との連携を強化し、企業ニーズを満足させる職業訓練の実施、地域での職場体験等キャリア教育の充実を図る。



高校生のインターンシップの様子